



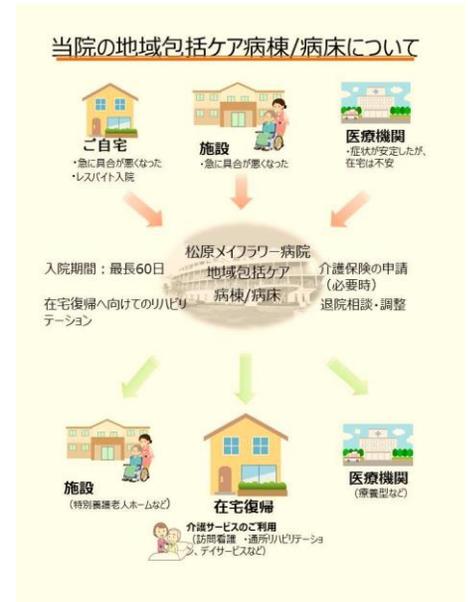
2024年は能登半島地震および航空機事故と大変な幕開けとなりました。被災、被害を被られた方々にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復、ご復興を祈念いたします。

当院は、今年の5月で25周年を迎えます。患者様ならびに地域の皆様からの支援の賜物と思い心より感謝申し上げます。今回も最後までご覧いただけますと幸いです。

当院の地域包括ケア病床について

当院は、患者様やご家族の思いに寄り添う地域医療を目指し、退院後は住み慣れた場所へ安心して退院していただけるよう令和4年3月1日より地域包括ケア病床(現在17床)を開設し3年目を迎えます。

令和6年2月からは、更に3階病棟49床を『地域包括ケア病棟』に変換し、超高齢社会への進展に伴い急増する高齢者の救急入院の受入れ体制を整えています。『地域包括ケア病棟』は、急性期治療を経過し、病状が安定した患者さまやご自宅や介護施設で療養されている方の緊急入院、ご家族の都合などによるレスパイト入院を受け、退院先は住み慣れた場所での療養を支援する病棟です。特に高齢者の方は、入院を契機に生活機能が低下しやすいため、入院前の暮らしに戻るよう機能を回復して在宅復帰に向けたサポートしています。また、退院後も当院で引き続きリハビリテーションや診療を受けていただくことも可能です。ご心配ことや不安なことは、病棟スタッフや相談窓口にご相談ください。(文責 看護部部長 松本淳子)



リレーエッセイ ～リウマチケアナース編～



～病棟リウマチケアナースは入院生活と在宅生活の架け橋～

日本リウマチ財団登録のリウマチケアナースは、リウマチ患者やその家族に対する専門的なケアを提供する資格を持った看護師で、当院には4人のリウマチケアナースが在籍しています。私はその1人で当院で20年に渡り、入院して来られる患者さんの看護に携わってきました。私が所属している三階病棟は今年2月から、一般急性期病棟から地域包括支援病棟となりました。医師、看護師、理学療法士、薬剤師、社会福祉士がチームとなって、

より一層 入院患者さん一人ひとりに関わり、入院生活を支え、家族支援を行っています。患者さんや家族が抱えている退院後の不安を傾聴して、問題点を見出し、カンファレンスや訪問を行い少しでも解決をしていけるようチームでサポートしています。

そして何よりも、私たちリウマチケアナースは患者さんとの関わりを大切に、患者さんの一番近い存在でありたいと思っています。患者さん自身が日常生活で維持したいこと、やってみたいことを尊重し、在宅での生活の工夫やコツを取り入れた入院生活やリハビリを行っていくことが大切だと考えています。日常生活動作の工夫を一緒に考え、地域のかかりつけ医と当院との連携をスムーズに行い、在宅に戻れるよう支援し、切れ目のない医療の提供に繋がりたいと思っていますので、気軽に相談してくださいね。

地域包括ケア病棟師長 笹尾千恵子

外来担当表

		月	火	水	木	金	土
午前 (9:00~ 12:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテー ション科	松原	奥田	松原	松原	奥田	
		前田		前田	亀長		
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	小林 (一般内科)	塩沢	小林 (一般内科)	塩沢	小林 (一般内科)	

午後 (15:00~ 18:00)	整形外科 リウマチ科 リハビリテー ション科	奥田	前田	栖田	/	奥田	
			奥田 (痛み外来) ※完全予約制				
	一般内科 リウマチ科 (膠原病)	井上 (一般内科)	小林 (一般内科)	小林 (一般内科)		小林 (一般内科) *オンコール	

午前	内視鏡検査	井上					
午後							

* 初診の方は、出来るだけ受付終了30分前までにご来院ください。

栄養科だより

【節分の豆のお話】

昔から豆には、鬼などの悪いものを追い出したり退治したりする効果があると言われてきました。鬼は災いのもとと考えられていたため、

豆をまくことで鬼を撃退しようとしたわけです。つまり豆まきには魔除けや邪気払いの意味があるということです。

また、節分には炒った豆を使うのが一般的ですが、その理由は昔話と関係があります。

昔、人を食べる鬼に、神様が「この豆から芽が出たら人間を食べてもいいが、出ないうちに人を食べたら罰を与える」と鬼に豆を渡しました。鬼は神様からもらった豆をまくのですが、待っても待っても芽は出ません。なぜなら、その豆はあらかじめ炒ってあったものであったから…というお話です。

このことから、節分の豆まきには炒った豆を使うようになったと言われていました。

つつい巻寿司に目を奪われがちですが、このお話を知ったあとに豆を味わってみてはいかがでしょうか？(栄養科主任 松井)



デイケア（短時間通所リハビリテーション）サービス提供時間追加のお知らせ



4月1日（月）より現在午前中のみ実施しているデイケアに関しまして、大好評につき午後に増枠することとなりました。ご興味のある方はお気軽にご相談ください。

追加枠：平日（祝日、年末年始除く） 13:50~15:20

窓口：松原メイフラワー病院 通所リハビリテーション 担当：上月 0795-42-8851（代）

編集後記

春を告げる鳥と言えばウグイスですね。今年も桜がほころびる頃には、「ホーホケキョ」とさえずってくれるでしょう。また、今で言ううぐいす色は、明治後期から流行になった色で、江戸時代は、茶色がかった実際のウグイス色に近かったようです。ウグイス色のメジロは???しているかも「チ チュイ チョーチュー」 byメジロ (K.K)



2024年2月発行 発行元：松原メイフラワー病院 〒673-1462 兵庫県加東市藤田944番地25

TEL：0795-42-8851（代） FAX：0795-42-8857

E-mail ▶ info@mayflower-hp.jp

HP ▶ http://www.mayflower-hp.jp/

